

平成25年度春期 災害対策専門研修
マネジメントコース:ベーシック

主担当:主任研究員 石川 永子

	6月4日(火)	6月5日(水)	6月6日(木)	6月7日(金)
09時30分～10時45分 1限		我が国における災害対応の動向 内閣府政策統括官(防災担当)付 参事官補佐 福田 恭平 ・東日本大震災の経験を踏まえて、最新の国の災害対応体制について理解する	災害史と社会 福和伸夫 人と防災未来センター上級研究員 (名古屋大学減災連携研究センター長・教授) ・過去の震災が歴史に与えた影響を学びつつ、現代の都市と社会の分析をとおして、その脆弱性と災害像を予測し、備えの方法を考える	リスクコミュニケーション概論 吉川 肇子 慶応義塾大学商学部 教授 ・人びとがリスクをどのように認識しているのかを理解したうえで、緊急時の効果的な情報伝達方法を理解する
11時00分～12時15分 2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 石川 永子 人と防災未来センター主任研究員	災害過程論 木村 玲欧 兵庫県立大学環境人間学部 准教授 ・災害発生後に、被災者が直面する様々な課題を時間軸から理解する	危機管理総論 越山 健治 人と防災未来センターリサーチフェロー (関西大学社会安全学部 准教授) ・危機管理の基礎的な考え方と実務上のとらえ方を理解する	災害をもたらす自然現象の理解(風水害) 川池 健司 京都大学防災研究所 准教授 ・風水害の発生過程とその対応方法を理解し、自治体の対応を考える
13時15分～14時30分 3限	災害をもたらす自然現象の理解(地震・津波) 清野 純史 人と防災未来センター上級研究員 (京都大学地球環境学 教授) ・地震発生メカニズムと、それによる物理的・社会的被害を理解し、自治体の対応を考える	地震による建物被害 佐伯 琢磨 人と防災未来センターリサーチフェロー (株)三菱総合研究所科学・安全政策研究本部 社会イノベーショングループ 主席専門研究員 ・地震及び地震火災による建物被害を理解し、自治体の対応を考える	災害関連法体系基礎 山崎 栄一 大分大学教育福祉学部 准教授 ・災害対応にあたって使える権限・財源を理解する ・災害対策基本法・災害救助法の守備範囲を理解する	民間企業の災害対応 水島 重光 日本生活協同組合連合会 B・C・P対策室 特別契約(減災塾塾長) ・災害時の被災者支援における、行政と民間企業との連携について理解する
14時45分～16時00分 4限	(センター展示施設見学ワークショップ) 災害時に被災者が直面する生活課題 石川 永子 人と防災未来センター主任研究員 ・災害発生時に人びとが直面する生活上の課題を具体的にイメージする	大規模災害における行政の対応の実態 ー東日本大震災と阪神・淡路大震災の事例よりー 〔震災当時の行政関係者〕 庄慶 浩一 兵庫県消防学校副校長 大内 伸 宮城県危機対策課課長補佐(総括担当) (災害対策検証・記録リーダー) 佐藤 智 宮城県南三陸町危機管理課 課長補佐兼住民安全係長	防災計画・マニュアルの考え方 近藤 伸也 人と防災未来センター研究主幹 ・災害対応に活かすことができるマニュアルの考え方について学ぶ	全体討論会 石川 永子 人と防災未来センター主任研究員 等 ・参加者の意見交換から、災害対応における姿勢を学ぶ
16時15分～17時30分 5限			地域防災計画論 今石 佳太 人と防災未来センター災害対策専門研修 DisasterManager (芦屋市企画部市長室長) ・地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を理解する	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分 ー	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成25年度春期 災害対策専門研修
マネジメントコース:エキスパートA

主担当:主任研究員 齊藤容子

	6月11日(火)	6月12日(水)	6月13日(木)	6月14日(金)
09時30分～10時45分	1限 (センター展示見学:希望者のみ)	市民社会ワークショップ 立木 茂雄 客員研究員(同志社大学社会学部 教授) 山本 康史 ハローボランティア・ネットワークみえ代表	災害対応各論(医療活動) 甲斐 達朗 上級研究員 (済生会千里病院千里救命救急センター) ・災害現場の医療活動体制について理解を深める	都市の復興概論+復興まちあるき 小林 郁雄 上級研究員 (神戸山手大学現代社会学部 教授)
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション (11:30～施設見学) 齊藤 容子 主任研究員	平野 昌 ハローボランティア・ネットワークみえ事務局 ・災害時の被災社会の対応において、ボランティアの果たす役割、市民の力の特徴と行政との関係のあり方について理解を深める	災害対応各論(被災者救護の実践的取り組み) 中島 直樹 和歌山県公営企業課主任(前福祉保健部福祉保健総務課主任) ・平成23年度台風12号における災害救助法適用事例から災害救助法の理解を深める	リズ マリ 主任研究員 ・阪神・淡路大震災の被災地を歩きながら、復興過程と様々な取り組みを学ぶ
13時15分～14時30分	3限 災害対応概論(初動期) 高田 洋介 研究員 ・初動対応時の対応と課題について理解を深める	災害をもたらす自然現象の理解(津波) 奥村 与志弘 リサーチフェロー 京都大学大学院 地球環境学 資源循環学 廊地震災害リスク論分野/工学研究科 都市社会工学専攻 地震ライフライン工学講座(兼務)助教 ・津波の発生メカニズムとそれによる物理的・社会的被害、今後の災害に備えた被害想定について学ぶ	災害対応各論(災害時の物流対応) 興村 徹 (株)日通総合研究所経済研究部 部長 ・災害直後から被災者の生活支援のための物流対応について、自治体担当部署のみならず民間運送会社などの能力も活用した実践的な事例を学ぶ	災害対応概論(復旧・復興期) 中林 一樹 上級研究員 (明治大学 大学院政治経済学研究科 特任教授) ・復旧・復興期の対応と課題について学ぶ
14時45分～16時00分	4限 災害対応概論(応急期) 石川 永子 主任研究員 ・応急対応期の対応と課題について理解を深める	災害対応各論(広域連携) 阪本 真由美 主任研究員 ・災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める	災害対応演習(クマ演習) 近藤 伸也 研究主幹 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ	災害事例 WS 齊藤 容子 主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限 危機対応時の組織論(情報システム) 浦川 豪 兵庫県立大学総合教育センター内防災教育センター 准教授 ・災害発生直後の被害予測技術、システム設計における業務分析の考え方を学ぶ	危機対応時の組織論(戦略的な広報について) 安富 信 リサーチフェロー (大阪読売サービス(株)編集制作本部 企画編集委員)、 川西 勝 リサーチフェロー (読売新聞大阪本社 編集委員) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ	危機対応各論(行政と自衛隊との連携) 越野 修三 岩手大学 地域防災研究センター教授 ・行政と自衛隊の連携について理解を深める	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分	— レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成24年度秋期 災害対策専門研修
マネジメントコース:エキスパートB

主担当:研究員 高田 洋介

	6月18日(火)	6月19日(水)	6月20日(木)	6月21日(金)
09時30分～10時45分	1限 (センター展示見学:希望者のみ)	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する	業務継続計画論 紅谷 昇平 人と防災未来センターリサーチフェロー (神戸大学 社会科学系教育研究府特命准教授) ・各公共機関におけるBCPの意味と重要性について、また、その導入について、具体的な事例を交えて理解する	ゲーミング手法を活用した防災・減災ワークショップ 矢守 克也 人と防災未来センター上級研究員・震災資料研究主幹(京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・教授) ・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 高田 洋介 人と防災未来センター研究員	標準的な災害対応システム論 林 春男 人と防災未来センター上級研究員(京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授) ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について学ぶ	災害対策本部の空間構成設計演習 牧 紀男 京都大学防災研究所准教授 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト東京事務所防災部主任	災害による交通渋滞について 中川 大 人と防災未来センター上級研究員(京都大学大学院工学研究科 教授/低炭素都市圏政策ユニット長) ・災害時における交通計画や道路啓開の仕方、都市構造について
13時15分～14時30分	3限 災害情報共有手法 宇田川 真之 人と防災未来センター主任研究員 近藤誠司 人と防災未来センターリサーチフェロー(NHK大阪放送局 報道番組専任ディレクター) ・庁内や関係機関、住民との情報共有や広報について学ぶ	災害と男女共同参画 斉藤 容子 人と防災未来センター主任研究員 ・災害時における男女共同参画の視点をこれまでの事例を踏まえて理解を深める。	株式会社サイエンスクラフト東京事務所防災部主任 ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する	
14時45分～16時00分	4限 災害時のこころのケア 大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター 研究主幹 ・災害発生初動期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて	災害時の健康危機管理 金谷 泰宏 国立保健医療科学院健康危機管理研究部部長 ・被災住民の健康危機に対する行政の支援について理解を深める	地方自治体における災害対策専門研修の実践的な活用(14:45-15:30) 古越 武彦 人と防災未来センターリサーチフェロー (長野県危機管理部危機管理防災課) ・人と防災未来センターの災害対策専門研修を、実際に長野県の施策として実践した事例を紹介することで、受講者が業務に活用するための一助とする	被害認定業務 田中 聡 富士常葉大学環境防災学部教授 ・被害認定の種類、また被災者への支援にとって重要な罹災証明書発行業務の実務について
16時15分～17時30分	5限 災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 兵庫県国際交流協会理事長 ・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める	避難の実態と課題 田中 淳 人と防災未来センター上級研究員 (東京大学大学院情報学環付属総合防災情報研究センター教授) ・災害種別ごとに異なる避難行動のタイミングと避難が困難な要援護者への対応について学ぶ	災害対応各論(NGO/NPO)(15:40-17:30) 森 毅彦 総務省総合通信基盤局電波部 基幹通信課長 明城 徹也 ジャパン・プラットフォーム国内事業部長/東北事務所長 ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ	16:00～16:20 全体の振り返り 16:20～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分	— レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	